

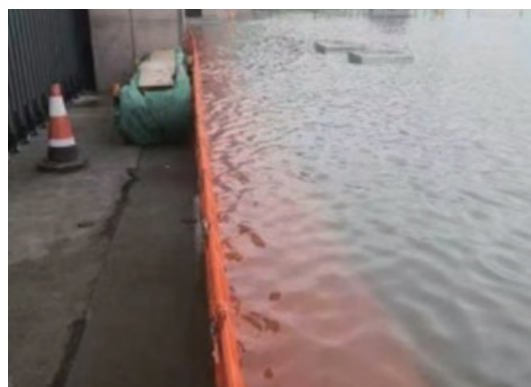
台風・線状降水帯シーズンに向けて



台風や集中豪雨による浸水被害は近年ますます深刻化しており、わずかな時間で建物の出入口や地下施設、駐車場などが水に浸かってしまう危険があります。一度浸水すると、建物内部の設備が損傷するだけでなく、復旧に多大な時間と費用がかかります。こうした被害を未然に防ぐための有効な手段が「止水板」です。出入口などに設置することで、雨水や下水の逆流をしっかりとせき止め、建物内部への侵入を防ぎます。止水板は設置や取り外しが容易なタイプも多く、繰り返し利用できるため経済的にも安心です。台風シーズンを迎える前に、事業所の危険箇所を点検し、早めの準備を進めることが大切です。止水板による備えは、災害時の事業継続を推進するための確かな防災対策となります。

設置の容易さも止水板選択のポイントです

従来の止水板はステンレスやアルミでできているものが多く、設置の際にその重さが難点になっていました。「Flood Guard」は、施設を浸水被害から守るために開発された簡易止水製品です。本体は ABS 樹脂のため軽量ながら高い耐水圧性能を備え、繰り返し使用が可能のため経済的です。工具不要で素早く設置でき、入口や開口部をしっかり密閉して水の侵入を防ぎます。災害時の備えとして常備しておけば、急な豪雨や河川氾濫時にも迅速に対応でき、建物や財産を効果的に守ることができます。



専門家に聞く

台風や集中豪雨による浸水は、給水ポンプや電気設備を損壊させ、断水や停電が数週間に及ぶリスクがあります。トイレの使用停止やエレベーターの長期停止は、直接浸水していないフロアでも事業継続を困難にします。近年急増するゲリラ豪雨では対応時間が限られるため、短時間で止水対策を完了できる体制や訓練、さらには常時浸水を防ぐ構造的対策を平時から備えておくことが不可欠です。

(関西大学社会安全学部 教授 奥村与志弘)



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら



当通信の文章・画像・図表等の無断転載・複製を禁止します